



レディース検査ガイド

今、乳がんは女性の最大の敵と言って良いでしょう。人生の盛りを襲う乳がんに対し、私ども北原RDクリニックのスタッフも皆様と共に立ち向かいます。他にも女性特有の疾患の検査を取り揃えました。ぜひご覧いただき、お問い合わせ・お申し込みを賜りますよう、お願い申し上げます。

| 項目 | 2019.10.1～ 料金(税10%込み) | 適応とご注意 |
|-----------------------|---|--|
| マンモグラフィ | 単独 ————— 7,700 円 マンモ + 視触診 ————— 8,800 円 脳ドックオプション マンモ + 視触診 ——— 6,600 円 * 八王子市乳がん検診も承っています。市検診はお申し込み方法が異なりますので、別途、受付にお問い合わせください。 | 生理前には、ホルモンの関係で乳房が張って痛むことがあります。マンモグラフィは生理が始まってから2～3日目以降に受けられるのが良いでしょう。なお、豊胸術後の方はお申し出ください。 |
| 乳腺超音波 | 単独 ————— 7,700 円 超音波 + 視触診 ————— 8,800 円 脳ドックオプション 超音波 + 視触診 ——— 6,600 円 | 超音波は乳腺の豊富な若い方にも適していますが、石灰化が写らないので、マンモグラフィとの併用が推奨されます。 |
| マンモグラフィ + 乳腺超音波 + 視触診 | 13,200 円 | |
| 自己採取による子宮頸がん検診 | 3,300 円 | 生理中を避け、前日の性行為や膈内洗浄は避けてください。 |
| 更年期ホルモンチェック | 6,600 円 | エストロジオールが低下し、LH・FSHが上昇している状態が更年期と判定されますが、必ずしも絶対の基準ではありません。 |
| 甲状腺ホルモン検査 | 6,600 円 | 甲状腺機能低下症ではT3・T4が低下し、TSHが上昇します。また、甲状腺機能亢進症では、T3・T4が上昇し、TSHが低下します。 |

当院のマンモグラフィは、認定読影医師(女性)・認定診療放射線技師(女性)が担当しております。



GE社製 最新型デジタルマンモグラフィ Senographe 2000D



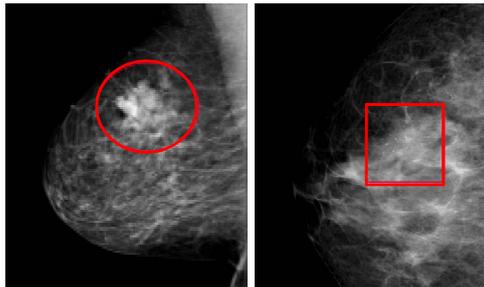
マンモグラフィ



当クリニックでは最新型デジタルマンモグラフィ撮影機と共に、見つけにくい石灰化などを自動的に検出する最新装置も導入しております。

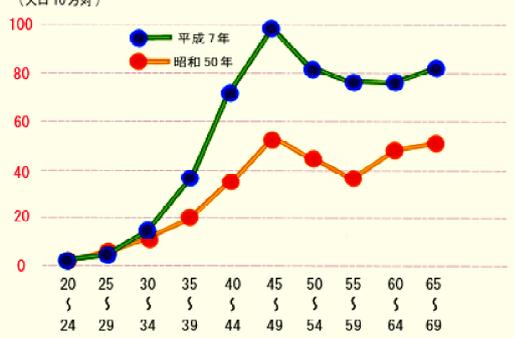


マンモグラフィによる腫瘍（左）・石灰化（右）



近年、日本でも乳がんにかかる女性が増加しています。（日本女性の20人に1人が乳がんにかかると言われていました。）しかし、早期に発見して治療を受ければ多くの場合治癒し、再発することなく過ごすことができます。早期発見のためには、触診に加え、マンモグラフィや超音波装置などの画像診断が重要です。「マンモグラフィ」は乳腺のX線検査です。乳がんをはじめ乳房にできる病気をほとんど見つけることができ、しこりとして触れないごく早期の乳がん（微細な石灰化）も発見できます。X線を使いますが、その量はごくわずかでほとんど危険はありません。

女性の年齢階級別乳がん罹患率



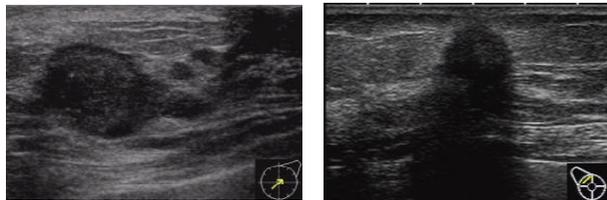
厚生省「健康手帳調査」がん研究協会による「乳癌がん登録」結果別の集計値より

乳がんはゆっくりと進み、触診でわかる直径2cmくらいになるまでに約10年かかります。40代で発見した直径2cmのがんは、30代にはすでに発生しているのです。マンモグラフィや超音波検査では、触診ではわからない小さながんを発見できます。

乳腺超音波



エコー検査とも言います。超音波（人間には聞こえない音）を体に向かって当てて、臓器からの音の反射を画像にして観察する検査です。痛みを伴わない、しこりは大きくても小さくてもよく検出される、乳腺が発達している若い人にも適している、といった長所があります。しかし、石灰化はわからないので、マンモグラフィと組み合わせての利用が推奨されます。



乳がんによる死亡数（女性）



乳腺エコーによる早期がん（左）と浸潤がん（右）

その他の検査

自己採取による子宮頸がん検診

子宮細胞診検査キット



子宮頸部の細胞をご自分で採取していただき、がんがあるかどうか顕微鏡で調べる検査です。自己採取では上手くとれないことがあり、精度が低いと言われており婦人科での医師による検査が推奨されます。しかし、手軽に調べられるというメリットがあります。

更年期ホルモンチェック

女性は45～50歳になると卵巣機能が衰え、分泌される女性ホルモン量が減少してきます。この女性ホルモン減少の過渡期を更年期と呼びます。この時期には生理不順や不正出血などの異常が起こりやすくなります。更年期には個人差があり、早い人では30歳代後半から始まり、遅い人では55歳頃始まります。更年期になって女性ホルモンが減少すると脳の下垂体から分泌されるLH（黄体ホルモン）・FSH（卵巣刺激ホルモン）が増加します。働きが悪くなった卵巣に「もっと働きなさい」と指令する役割をしているからです。エストラジオール（女性ホルモン）とLH・FSHを測定することによって、その方が更年期かどうかの判断ができます。

甲状腺ホルモンチェック

更年期には、急にコレステロール値が上がってきたり、全身倦怠感・意欲の低下が起こるなど甲状腺機能低下症とよく似た症状が出てきます。もともと甲状腺の疾患は女性に多いので、症状だけで更年期とは決め付けず、ホルモン値を調べてみることをお勧めします。

*** 更年期ホルモンチェック、甲状腺ホルモンチェックは採血で行えます。**